

持続可能な農業モデルの構築に向けて 4社連合体で挑む

2024年3月28日
株式会社ベジテック

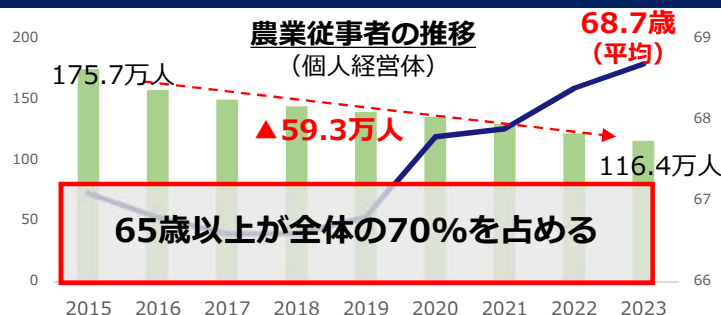


©2024 AIR WATER INC. all rights reserved.

- 1. 農業・物流を取り巻く環境**
- 2. 持続可能な農業モデルの構築に向けて**
- 3. 目指す姿**

1. 農業・物流を取り巻く環境

川上（栽培・調達・物流）

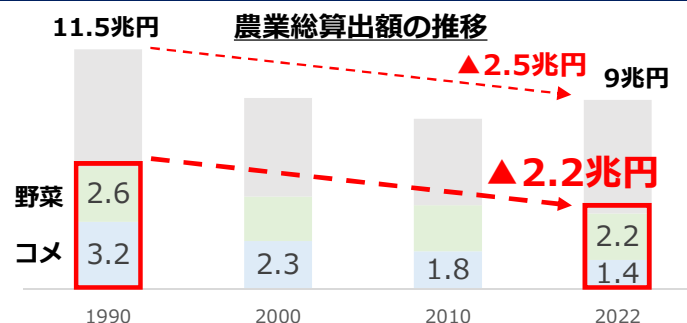


不足する輸送能力 32.5%

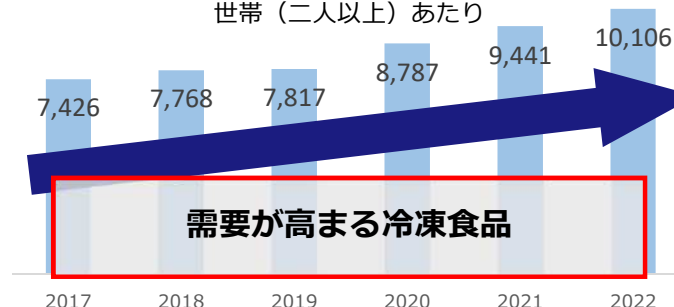
農産・水産品出荷団体	
紙・パルプ（製造業）	12.1%
建設業、建材（製造業）	10.1%
卸売・小売業、倉庫業	9.4%
飲料・食料品（製造業）	9.4%
自動車、電気・機械・...	9.2%
化学製品（製造業）	7.8%

- ・高齢化、担い手不足（耕作面積縮小）
 - ・物流2024年問題
(タイムリーに運ばず、廃棄増)
- ➡鮮度保持に貢献する物流体制の構築

川中（製造・加工）

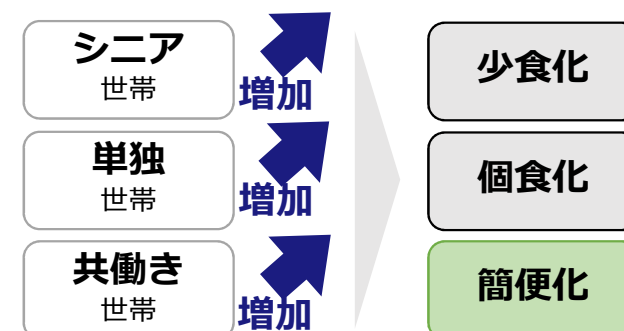


冷凍食品への支出金額（円） 世帯（二人以上）あたり



- ・国産の加工原料調達がタイト化
 - ・海外産原料の調達困難
(数量減・単価up)
- ➡高次加工技術の強化
(特に冷凍技術の高度化)

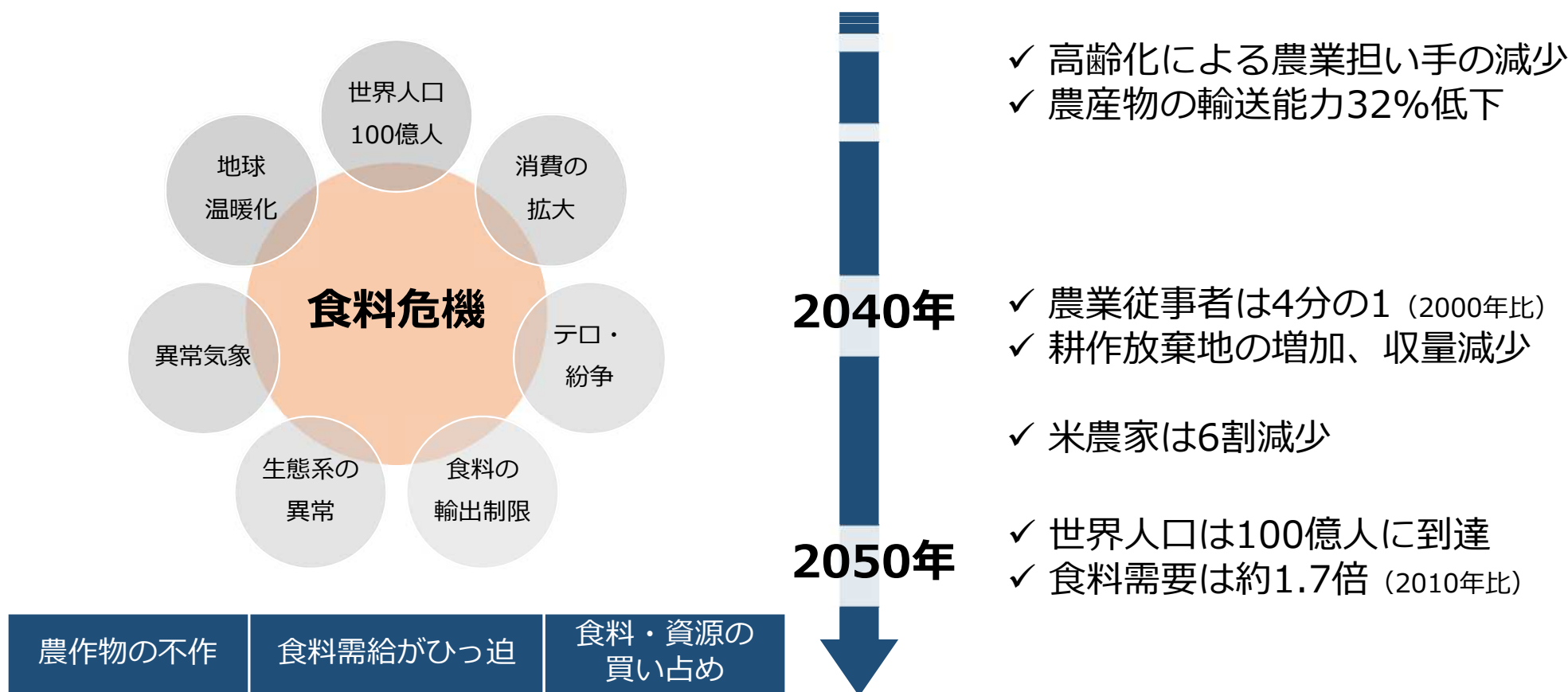
川下（流通・販売）



- ・ニーズや消費スタイルの変化
(簡便化志向の高まり)
- ➡マーケットインの商品開発
➡海外販路の獲得

1. 農業・物流を取り巻く環境

食料危機の克服に向け、川上・川中・川下のサプライチェーン全体で解決



2. 持続可能な農業モデルの構築に向けて



売上1兆49億円
(うち、アグリ&フーズ事業
1,528億円 23年3月期)

- 北海道産野菜の調達力
- 多様な加工技術
-畜肉・デリカ・飲料・スイーツ・冷凍野菜
- 冷凍技術・鮮度保持技術
- 全国の物流拠点
- 自社小売販売（九州屋）

- 市場調達＋契約調達
- 業界随一の総合力
→ ・仲卸機能
・カット野菜・フルーツ加工
・パッケージ加工
- 市場間物流
- 小売・中食販路に強み
- ISO17025における認定分野
が日本トップクラス（栄養分析等）



売上640億円
(23年3月期)

売上4,069億円
(23年3月期)



- 日本全国の米の調達力
- 消費地における精米拠点
- 米加工品の技術ノウハウ
- 荷受5社のネットワーク
→青果60万tの流通
- 施設栽培技術(もやし・きのこ)
- 外食販路に強み(元気寿司)

- 全国の直営17拠点網
- 多様な野菜品目
- 全国からの契約調達
- 高度な野菜カット技術
- 全国のチルド配送網
→全国30,000店舗に配送
- 外食販路に強み
- 成分分析のパイオニア

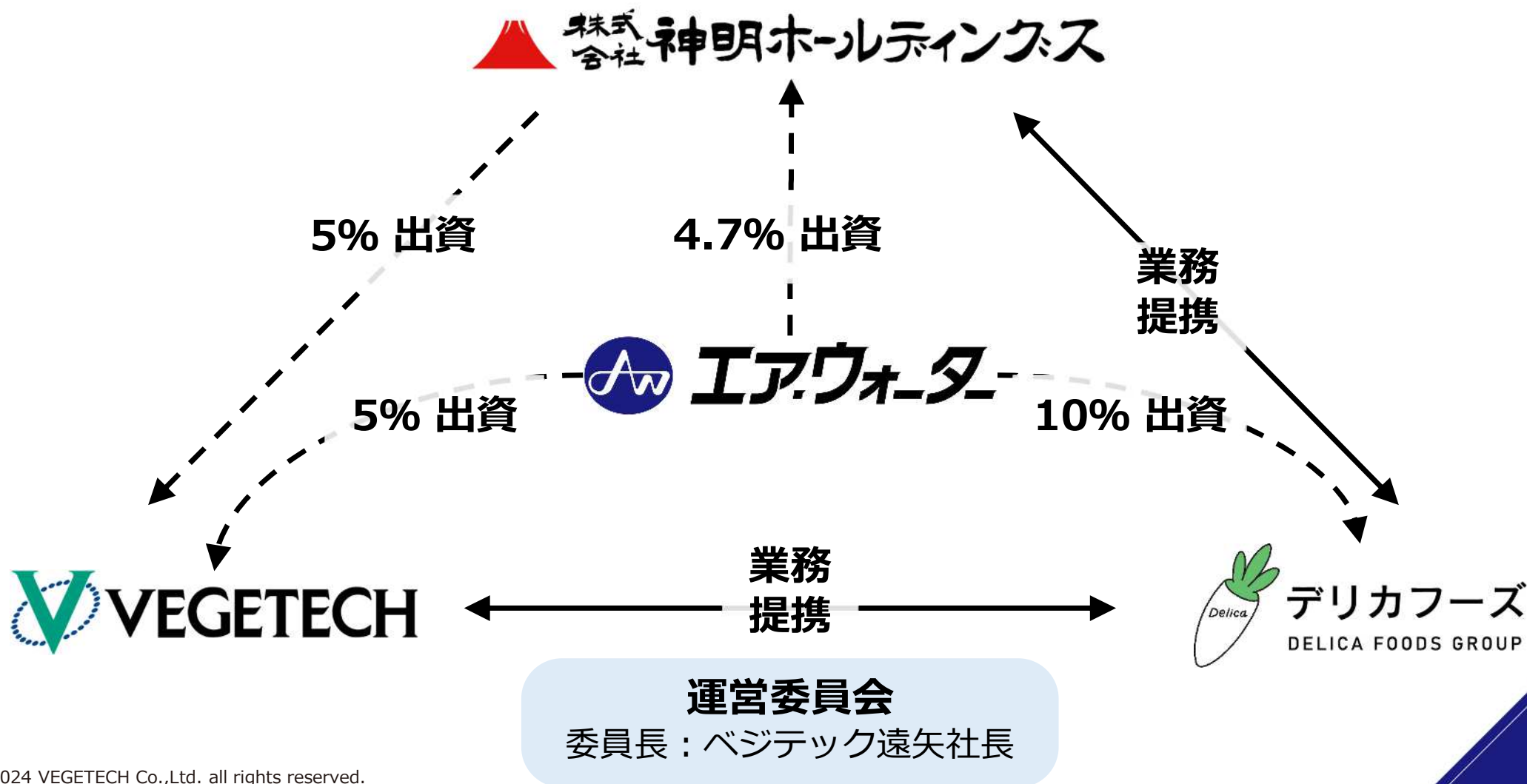


デリカフーズ
DELICA FOODS GROUP

売上479億円
(23年3月期)

★売上高計 約7,000億円
青果卸マーケット3兆円へ挑む
業界最大規模のアグリ連合体
★4社の機能の掛け合わせで
調達～物流～加工～販売の
青果流通加工プラットフォームを進化

2. 持続可能な農業モデルの構築に向けて

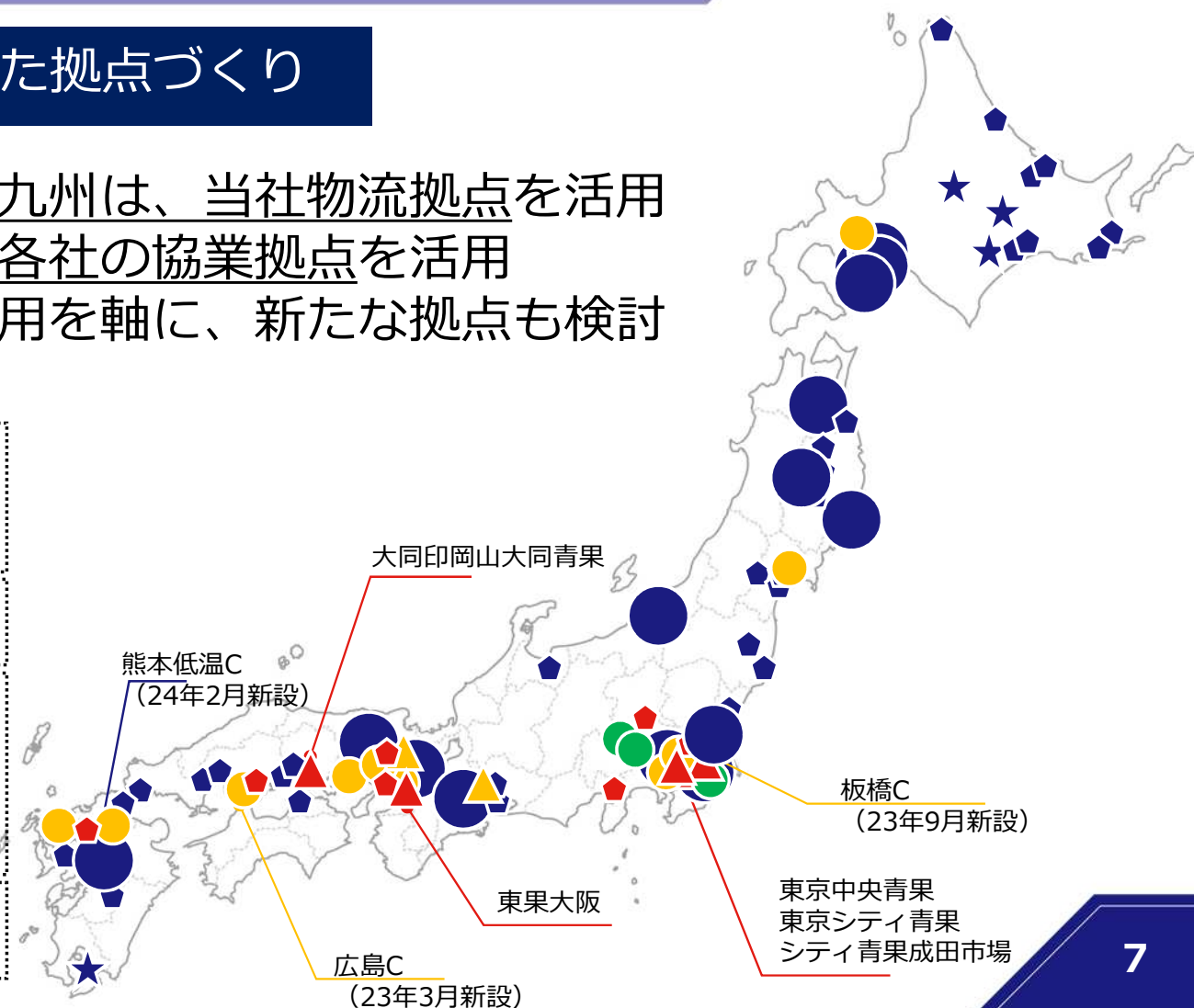


2. 持続可能な農業モデルの構築に向けて

連携企業それぞれの強みを発揮した拠点づくり

- ①青果の生産地である北海道・九州は、当社物流拠点を活用
- ②消費地である関西・関東は、各社の協業拠点を活用
- ③集荷・中継拠点は各施設の活用を軸に、新たな拠点も検討

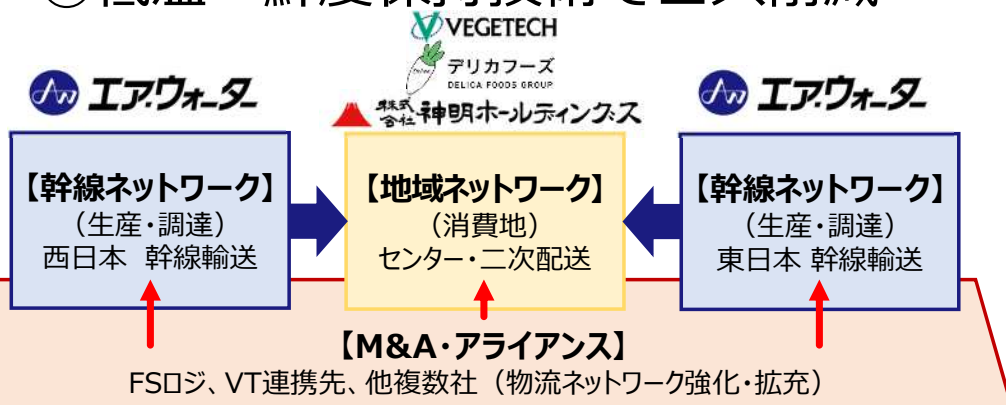
 エアウォーター	● 物流拠点(常温・低温) : 17拠点 ◆ 物流拠点(食品以外) : 55拠点 ★ 青果貯蔵拠点 : 4拠点
 VEGETECH	● 貯蔵拠点 : 3拠点 埼玉2拠点、千葉
 デリカフーズ DELICA FOODS GROUP	● 物流拠点 : 13拠点 北海道、仙台、東京4拠点、神奈川、大阪、奈良、兵庫、広島、福岡、長崎 ▲ 物流拠点(貯蔵機能有) : 3拠点 埼玉、愛知、大阪
 神明ホールディングス	▲ 荷受拠点(青果) : 5拠点 ◆ 工場・流通拠点 : 7拠点



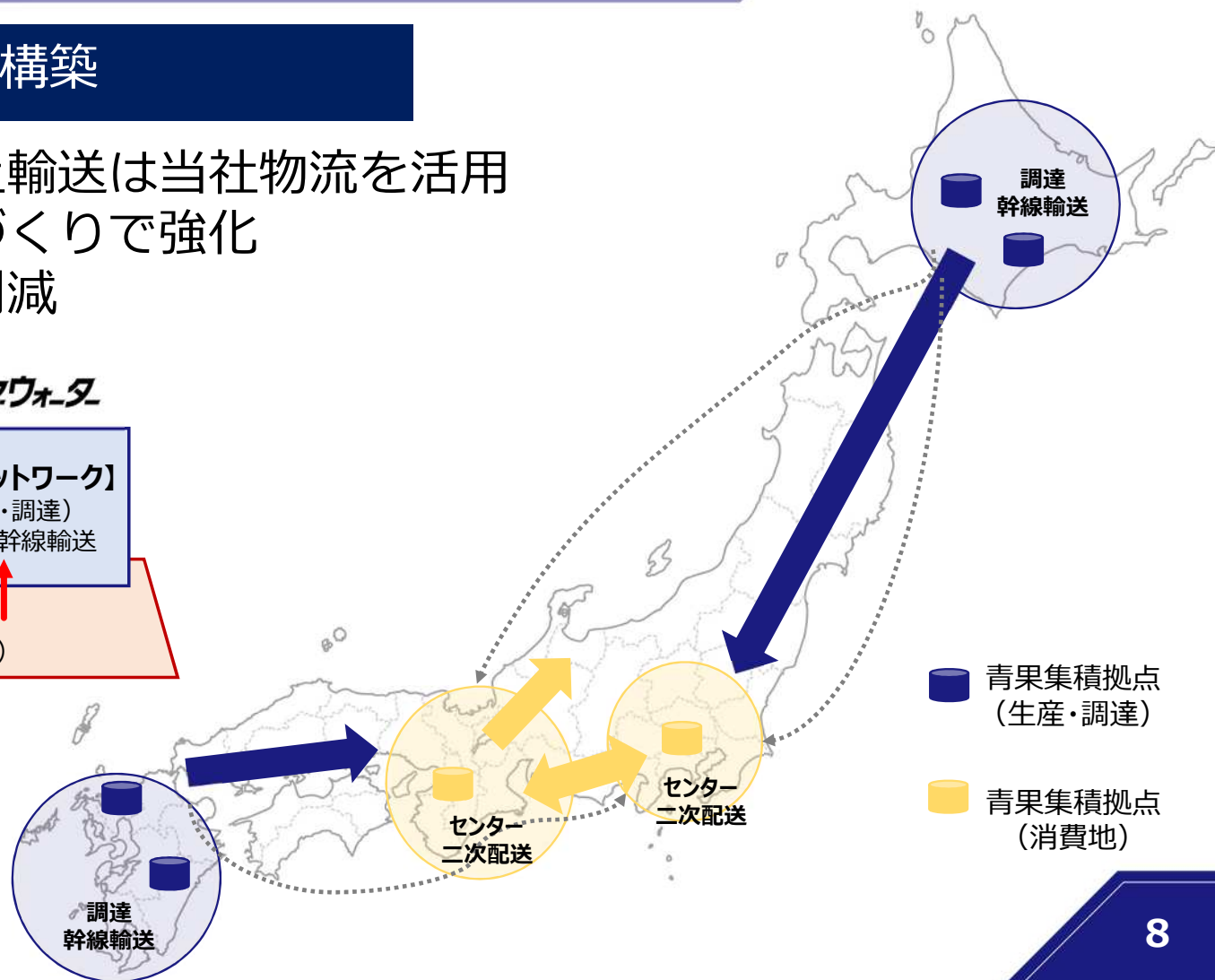
2. 持続可能な農業モデルの構築に向けて

物流ネットワークの構築

- ①青果・コメの幹線輸送・海上輸送は当社物流を活用
- ②地域および二次配送は仲間づくりで強化
- ③低温・鮮度保持技術でロス削減



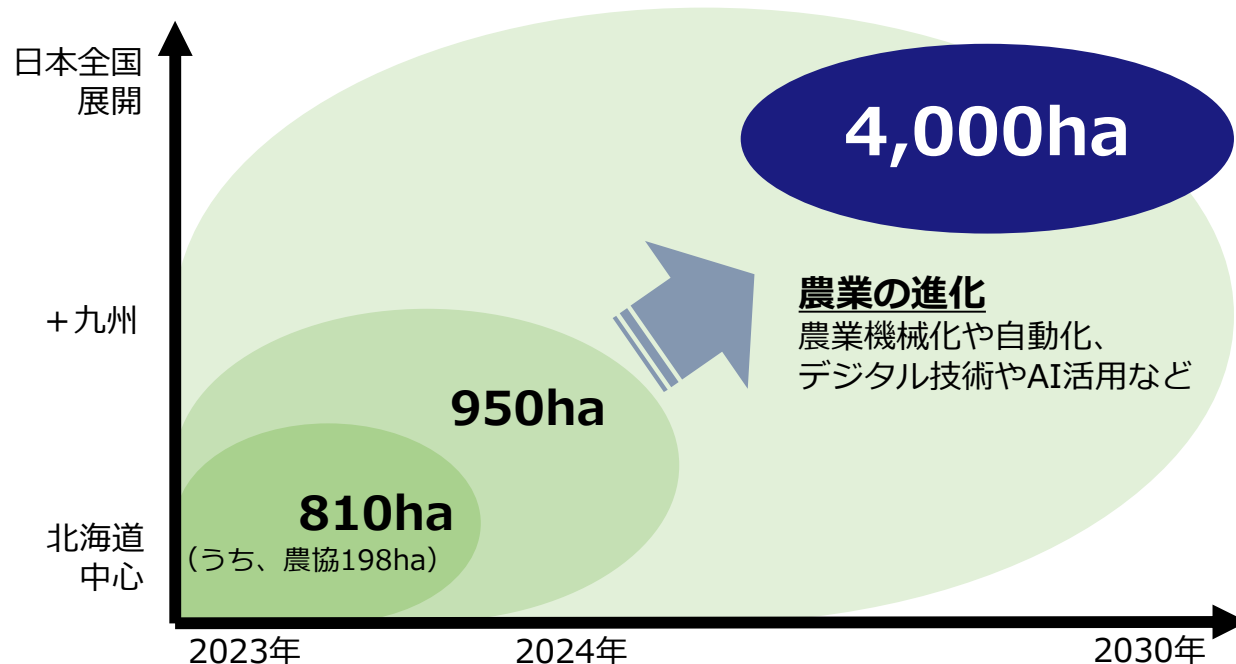
4社取扱い農産物 140万トンを対象
青果 約90万トン+コメ 約50万トン



2. 持続可能な農業モデルの構築に向けて

契約栽培の拡大・需給ミスマッチの解消

- ①マーケットニーズに紐づいた品目づくり(既存品目+玉葱・ブロッコリー他)
- ②アグリサポート事業を九州・本州へ
- ③JA（農協）との協力体制等、地域連携



うち、
AWグループ社員
100名がリードする

リーダー

農業機械の整備や
栽培技術の導入、
及び作業者の統率

作業者

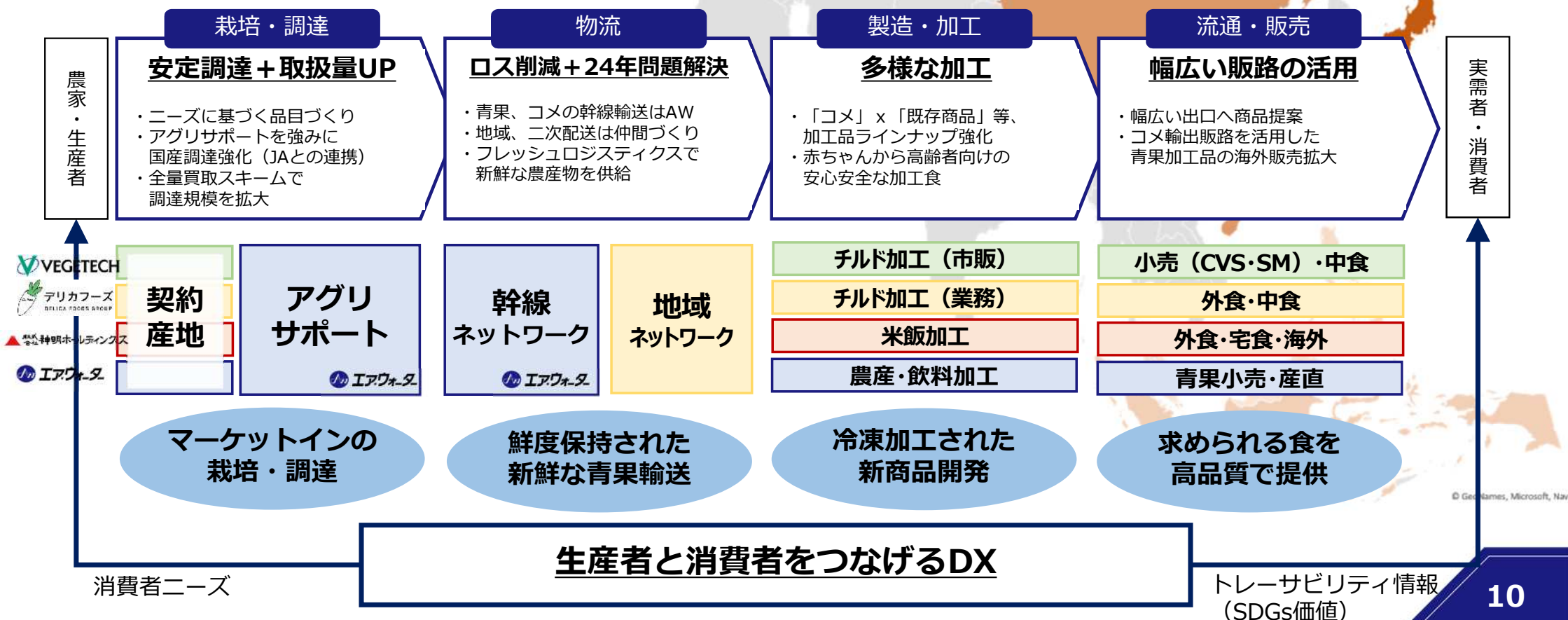
農作業に従事

育成者

新規就農者を育成

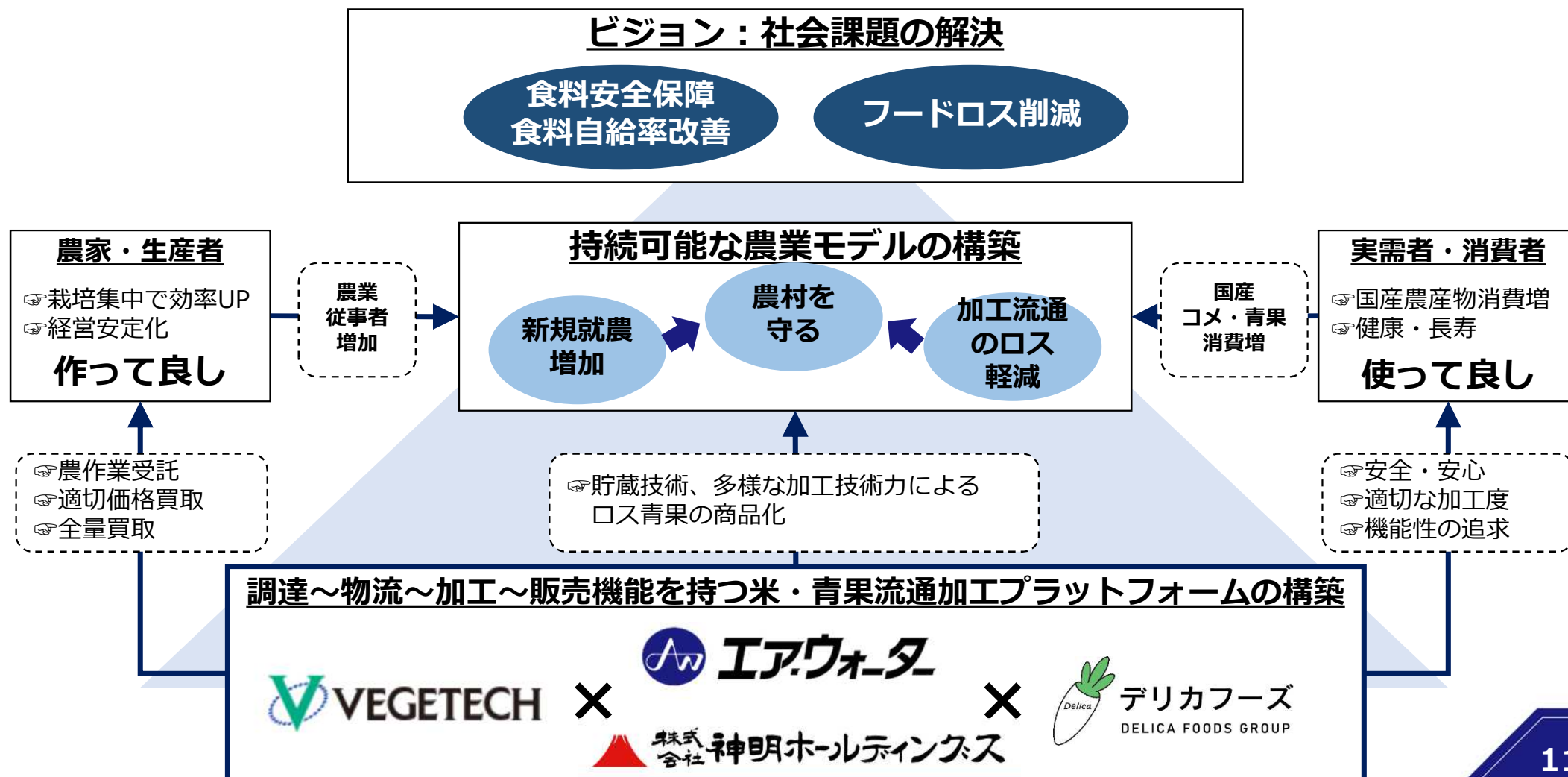
2. 持続可能な農業モデルの構築に向けて

国産農作物の安定調達、食の安定供給へ



© Games, Microsoft, Navis

3. 目指す姿



ご清聴ありがとうございました